



キャリア通信 No.6

～柏っ子当たり前3か条～

- ①自分からあいさつしていますか？ ②人の話を聞けますか？ ③あなたは夢をもっていますか？

租税教室でキャリア

6年生の実践

「キャリアプランニング能力の育成」

6年生を対象に「租税教室」が行われました。租税教室は柏小の保護者でもある税理士の小田切さんを講師にお迎えして、何年も前から行われている出前授業ですが、これも立派なキャリア教育です。**具体的な要素としては「キャリアプランニング能力」の「学ぶことや働くことの意義や役割の理解」にあたります。**



内容は、税金の種類として直接税と間接税があること、消費税のように一定の割合で納められるもの、所得税のように累進税率になっているものなど、税について詳しく説明をして

いただきました。また、法人税などの税金の申告のお手伝いをするのが税理士の仕事だということも説明していただきました。税金が無くなった世界をイメージする動画を見て、公共の施設などいろいろなものが税金によってまかなわれていることもわかりました。

国民の三大義務である「納税の義務」、将来仕事をし、生きていく上で、欠かすことのできない学習でした。



番外編

環境教育 「南極ってどんなところ？」

南極57次観測隊の柴田和宏さんをお招きして、南極生活の話の聞いたり映像を見たりしながら、環境保全を考える学習を行いました。南極生活では、環境保全のためにゴミは一つも残してはいけないうこと、生物は一切持ってきてはいけないうこと、それでも人間が運んだ荷物に食物の種がついていることがあり、今まで存在していなかった植物が生えてしまったことなど、どんなに気を付けても、人間が一步その地に踏み込むと環境を破壊してしまうということを話していただきました。また、一日中太陽が昇らない期間や白夜の期間の映像を見たりオーロラの映像を見たりしました。南極の氷と冷蔵庫でつ



くった氷の比較も行いました。南極の氷は雪が圧縮されて、何千年もかかってできたもので、その中には空気が含まれ、溶けていく過程でパチパチと空気がはじける音がしました。子どもたちは集中してその音に耳を傾けていました。環境教育として行った授業でしたが、「女の子でも南極観測隊になれますか？」という質問がでるなど、子どもたちにとって、南極観測隊や環境保全の仕事についても興味関心を持つことに繋がりました。

